

平成26年1学期始業式あいさつ

おはようございます。皆さん、進級おめでとう。

いよいよ今日から新学期が始まりました。新しい北中学校のスタートです。

2年生になった皆さんは、中学校生活にも慣れて、思いっきり自分らしさを発揮できる時期、自分を試せる時期です。「やる気」と「責任ある態度」で3年生を支え、北中を動かす原動力となって欲しいと思います。

3年生の皆さんは、全校生をリードし、部活動や生徒会活動、市の音楽会をはじめさまざまな活動で、「北中の顔」として活躍してくれることを大いに期待しています。

新しい年度、新しい学年の始まりにあたり、皆さんに私から二つのお話をしておきます。1つ目は皆さんが北中学校を創っていくということです。

3月の終わりに校長先生がこの北中をはじめて訪れたときに、部活動で学校に来ていた人が大きな声であいさつをしてくれました。とてもうれしかったです。また、校舎内を見させてもらったら、トイレのスリッパがきれいに並べられていることにも感心しました。前校長の西山校長先生にそのことをお聞きすると、「あいさつ」や「トイレのスリッパ」は北中学校の伝統で、生徒会の目標にもなっているということでした。

すばらしいなと思いました。やったり、やらなかったり、やりたい人だけがしているでは本当の意味での伝統にはなりません。今年度も一人一人が普段の姿を振り返り、行動し、みんなの取組にして欲しいと思います。楽しみにしています。

二つ目は、「感動・感謝・そして成長！」のある学校生活についてです。この言葉は、職員室の壁に貼ってありますが知っていましたか。修了式のときに前西山校長先生から、先生方が授業の中で意欲を持って互いに学び合うためにはどうしたらよいか研究し、一人一人の豊かな学びに繋

げたいと取り組んでいるという話があったと思います。

授業は皆さんの学校生活の中で一番長い時間を占めます。一人一人が主役になるためには、「聴くこと」「聴き合う雰囲気があること」「わからないときにわからんって言えること」「わからんことを受け止める雰囲気があること」が大切です。

わからんことが、なかまの一言で「わかってきた!」「そうか!」という発見や驚きという感動。「ヒントくれてありがとう」という感謝。そして、「わかった!」{できた!}という成長。感動・感謝・そして成長!です。

このことは授業だけでなく、すべての学校生活にも共通します。

みなさんには「無限の力」があります。「感動ある北中学校」、「互いに感謝できる北中学校」「そして成長!」となるように先生方と共に頑張りましょう。みなさん方のこの一年間の大いなる成長に期待して始業式の言葉とします。

平成26年4月7日

名張市立北中学校
校長 和南 義一